

第5回 嬉野市総合戦略推進委員会 議事要旨

日時：2015年10月9日（金） 10：00～11：30

場所：嬉野市役所塩田庁舎3階 執行部控室

◇出席委員：戸田委員、副島委員、前田委員、村上委員、熊谷委員、林委員 [計6名]

◇欠席委員：毛利委員、松永委員、田中委員

【次第】

1. 開会
2. 委員長挨拶
3. 「嬉野市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）」におけるパブリックコメントの結果及び市議会からの意見・回答について
4. その他
5. 閉会

<内容>

- ・パブリックコメントの結果については、市民からの意見及び意見に対する市の対応を記載した資料にもとづいて審議を行い特段異論は無かった。
- ・市議会からの意見及び回答についても、資料により審議を行い、次ページの表の太枠欄のとおり委員より意見があった。

No.	ページ	意見の内容	意見についての回答（事務局）	推進委員会での意見
1	4 ページ	<p>【2】政策の企画・実行にあたっての基本方針</p> <p>主役はだれなのか。この計画を基にして人口減少に歯止めをかけるために市民と一緒に進めるといった内容を【2】の項目で謳うべきではないか。市民と認識を共有し浸透させながら実行することが一番大切なことではないかと考える。</p>	<p>4 ページに 4 総合戦略の実行 を新たに追加。</p> <p>市民と認識を共有し浸透させながら実行することについては、まずは日本全国で取り組まれているところの先行事例を研究していきたい。</p>	<p>4 総合戦略の実行 については、新たに追加することに異議はないが、3 取組体制とPDCAの確立 の中の項目として挙げるべきではないか。</p> <p>そうならば、項目の順番を再考した方が良い。また、PDCA サイクルを回していくことで「総合戦略」の実現を図る。というのは各項目の前置きとするのが相応しいのではないか。</p> <p>→（事務局）4 ページのとおり修正</p>
2	4 ページ	<p>【2】政策の企画・実行にあたっての基本方針</p> <p>計画を確実に実行するため、専門の職員を配置してはどうか。</p>	<p>専門の職員は配置せず、市民と一緒に動いていく体制にしたい。</p>	
3	4 ページ	<p>2 嬉野市総合計画後期基本計画との関係</p> <p>「後期基本計画の方針をベースに」とあるが、基本計画の上位性を謳わなくてもいいのか。他市の計画には、総合計画の上位性について示してあるものがある。</p>	<p>4 ページの 2 嬉野市総合計画との関係 を修正。</p>	

4	4 ページ	<p>3 取組体制と PDCA の確立</p> <p>(2) 取組と検証</p> <p>「総合戦略」の見直しを行う。」となっているが、「見直しを行うという PDCA サイクルを繰り返すことによって総合戦略の実現を図る。」というような表現にすべきではないか。</p>	<p>4 ページの 3 取組体制と PDCA の確立 を修正。</p> <p>ページ最下部に PDCA の注釈を追加。</p>	同上
5	5 ページ	<p>【3】基本目標、重要業績評価指標 (KPI) 及び具体的な施策</p> <p>1 成果 (アウトカム) を重視した目標設定</p> <p>結果 (アウトプット) ではなくあえてアウトカムという表現をした理由</p>	国から求められたものであるため。	異議なし
6	6 ページ	<p><基本目標①>嬉野市に住みたい・行きたい“ひと”の流れをつくる</p> <p>ここでいう“ひと”とは、どういう人を指しているのか。</p> <p>市民との関わりが見えない。市外から来てもらうためにも、市民である“ひと”(人材育成、おもてなし等)についても掲げてよかったのではないか。</p>	<p>ここでいう“ひと”とは、地方へのひとの流れをつくるため大都市圏から嬉野へ来る“ひと”であり、一方で嬉野市にもらい外に出さない“ひと”である。</p> <p>ひとにやさしいまちづくり及びふるさと教育の推進により、おもてなしや人材育成につなげる。</p>	異議なし

7	8ページ	(4) スポーツの推進に関してはスポーツボランティア登録者の目標の記述があるが、観光、移住支援、文化関係の各分野においても多くの市民がボランティアとして活動されている。行政の意図が市民にも伝わるように市民も嬉野市の応援団だと位置づけるような文章を加えてはどうか。より一緒になって盛り上げていく気持ちが出てくるのでは。	次回、見直しの際の検討項目としたい。	異議なし
8	6ページ	(1) 観光客の誘致促進・国際交流活動の推進 政府が進めている「日本版 DMO」をどう浸透させていくのか。市民と一緒に取り組むことが課題と考える。	6ページ及び7ページのとおり修正。	異議なし
9	7ページ	「源泉の保全」とあるが、今まで議論してきた源泉集中管理についても明記すべきではないか。	6ページ及び7ページのとおり修正。	異議なし
10	7ページ	具体的施策が多すぎるので、もう少し整理して列記してはどうか。	6ページ及び7ページのとおり修正。	異議なし

11	7ページ	「日本版DMO」を重点施策に置くならば、順番を上位にするべきでは。	6ページ及び7ページのとおり修正。	DMOに注釈を付けた方がよいのではないか。(DMO創設により国が補助金等で支援する旨の説明も含めて) →(事務局)ページ最下部にDMOの注釈を付する。
12	7ページ	医療観光・メディカルツーリズムの記載がない。	次回、見直しの際の検討項目としたい。	異議なし
13	7ページ	「忍者など各種コンテンツとのタイアップによる観光プロモーション」について、ここに忍者を入れる必要があるのか。ハウステンボス等を念頭にテーマパークや焼き物体験という文言に変えてはどうか。	6ページ及び7ページのとおり修正。	各種産業 とのタイアップでは抽象的すぎる。 →(事務局) <u>域内のテーマパークや焼き物体験等</u> とのタイアップに修正。
14	7ページ	観光情報一元化整備は、カッコ書きではなく、「情報一元化プラットフォーム構築を含めた観光情報一元化整備」としてはどうか。	6ページ及び7ページのとおり修正。	異議なし

15	7ページ	<p>(2) 移住支援及び定住支援</p> <p>空き店舗、新規就農等とミックスして取り組んではどうか。また、光ファイバーを活かしたシリコンバレーのようなまちづくりが推進できないか。</p>	<p>12ページの(3) <u>次世代を支える起業支援の推進</u>及び(4) <u>魅力ある地域商工業の創造</u>の中に書き込んでいる。</p>	
16	7ページ	<p>シティプロモーションとは、地域住民の愛着度の形成がベースになり、それがシティプロモーションに派生するものだと考える。シティプロモーションを記載するならば、住民幸福度についても記載をするべきではないかと考える。</p>	<p>他の自治体の総合戦略の中で住民幸福度を取り入れたところがあったので、研究して次回の検討項目としたい。</p>	
17	7ページ	<p>お試し移住についての施策を掲げてはどうか。移住者との座談会をしたインタビュー記事をパンフレットに載せて、他地域に売り込むという方法もあるのでは。</p>	<p>まずは、物件の確保だと考える。</p>	<p>「空き家」にこだわる必要は無く、「空き部屋」でもお試し移住は可能である。例えばお試し移住に限って家賃を安くして移住者が生活していけるか検証してみるなど。</p> <p>→(事務局) お試し移住については、具体的な施策の中に盛り込む。(文言については事務局一任で了承済)</p>

18	8ページ	<p>(3) 文化の薫るまちづくりの推進</p> <p>佐賀ゆかりの人物とあるが、嬉野ゆかりという記載も必要ではないか。</p>	佐賀ゆかり・嬉野ゆかりに修正。	異議なし
19	8ページ	<p>塩田津、志田焼の里博物館、キリシタン遺跡、鍋野和紙等の現在活用されている施設の明記も必要ではないか。</p>	<p>(3) 文化の薫るまちづくりの推進</p> <p>の中の項目としてそぐわないため明記しない。</p>	<p>文化の情報発信については多様性がカギとなる。</p> <p>「リバティ」だけでなく例えば「公会堂」や「長崎街道」なども文化の情報発信源となり得るのではないか。</p> <p>→（事務局）具体的な施策の中に盛り込む。（文言については事務局一任で了承済）</p>
20	8ページ	<p>有田の県立九州陶磁文化館、窯業大学校との連携を掲げてもよいのではと考える。</p>	次回、見直しの際の検討項目としたい。	異議なし
21	8ページ	<p>(5) ひとにやさしいまちづくりの推進</p> <p>KPIに「ボッチャ」競技人口を入れた理由は。現在バリアフリースポーツセンターで行われている車いすテニス大会は明記されていない。</p>	ユニバーサルスポーツの代表としてまずは「ボッチャ」を広めたい。車いすテニス大会は9ページの「すべてのひとがハンディなく、一緒に楽しめるユニバーサルスポーツの普及の促進」に含まれている。	異議なし

22	9ページ	<p>(6) 新幹線を生かしたまちづくりの推進 ハウステンボス直通バスの運行というよう な連携の施策も必要ではないかと考える。</p>	<p>9ページの「～公共ネットワークにつ いても強化を図っていきます。」の 文言に含まれている。</p>	<p>異議なし</p>
23	11ページ	<p><基本目標②> 嬉野市で働きたい“しごと”をつくる (1) 企業誘致ビル整備による新たな雇 用の創出 人口増の具体策として優先すべき課題であ るが、新規雇用は企業誘致ビルで行うのか。 これまでの工業団地誘致についても引き続 き取組んでもらいたい。</p>	<p>事務系のオフィス誘致による新規雇 用を想定。工業団地は状況に応じて 検討していく。</p>	
24	11ページ	<p>入居する企業がない場合や維持管理等の課 題があるので慎重に検討をしてもらいた い。</p>	<p>要望のみ（答弁なし）</p>	

25	12ページ	<p>(3) 次世代を支える起業支援の推進</p> <p>観光地ならではの起業・新規創業の支援についての施策も載せてはどうか。新しい業態への対応も必要では。小規模な雇用の場の確保になるが嬉野らしさを活かした起業支援も盛り込んでもらいたい。</p>	<p>チャレンジショップなどで空き店舗の活用が考えられるが、所有者の意向を確認したい。</p>	
26	12ページ	<p>起業支援ワンストップ窓口、ワンストップ体制づくりが必要ではないか。</p>	<p>12 ページに「起業支援ワンストップ窓口の創設」を追加。</p>	
27	11ページ	<p>企業誘致ビル整備の構想について</p>	<p>現在の状況について説明済。</p>	
28	12ページ	<p>起業家に対する優遇措置、情報提供については、「他市より優位な」という文言を入れてもよいのではと考える。</p>	<p>まずは支援制度の創設。（「他市より優位な」は捉え方で判断が難しい面もある）</p>	
29	13ページ	<p>(5) うれしの茶の販路・需要開拓</p> <p>「海外販路開拓に向けた商談成立件数」今から力を入れるべきところに目標6件は少ないのでは。もっと伸びる要素があるのでは。</p>	<p>検疫・残留農薬など厳しい規制もあるため、6件としている。</p>	

30	13 ページ	<p>「西九州茶連の販売高」目標は、現状から40%アップになる。これは面積を広げるのか、単価を上げるのか、どちらに重きを置いて展開するのか。40%も上げるのは相当の努力が必要である。次代に受け継いでいけるような取組みを求める。</p>	<p>単価を上げることに重きをおいている。</p>	
31	14 ページ	<p>(7)“うれしのブランド”づくりと“稼ぐ”農業への取組 3つの推進作目よりも、今までのゴーヤ、きゅうりの施設園芸を拡充拡大した方がよいのではと考える。</p>	<p>「ブロッコリー」「ミニキャロット」「キャベツ」の3作目は、既にJAと取組みを進めている。</p>	
32	14 ページ	<p>グリーンツーリズムについても触れてもらいたい。</p>	<p>旅館という宿泊施設がある嬉野市での取組みは難しい。</p>	<p>グリーンツーリズムの定義は何か。嬉野市では宿泊施設と連携することでより強いグリーンツーリズムが構築できるのではないか。宿泊施設と連携してという文言を入れることでより嬉野らしさが出る。そのためにも農林サイドと観光サイドの連携なくしては実現出来ない。</p>

33	14 ページ	6次産業化推進のために、市内の旅館、料飲店組合等との連携を図るような文言の記載が必要ではないか。	次回、見直しの際の検討項目としたい。	
34	16 ページ	<p><基本目標③> 嬉野市で結婚・出産・子育てしたい“まち”をつくる</p> <p>(1) 結婚支援の充実</p> <p>具体的な施策において、県との連携、広域での連携が入っていない。単独で達成できるのか。方向性が具体的になっていなくても、考えがあるのであれば、記載しておくべきではないか。</p>	<p>県との連携方法が見えていなかったため記載していない。</p> <p>次回、見直しの際の検討項目としたい。</p>	
35	17 ページ	<p>(3) 安心して子どもを育てられる環境の確保</p> <p>子どもセンターについては、目玉の施策とするならば、1 番目に記載することも考えてはどうか。</p>	17 ページ (3) <u>安心して子どもを育てられる環境の確保</u> の項目及び(具体的な施策)の中の項目をそれぞれ1番目に修正。	
36	18 ページ	<p>(4) 特色ある教育の推進と確かな学力の育成</p> <p>市長の公約で学力日本一を掲げていたが、示されていない。掲げるべきではないか。</p>	18 ページ (4) <u>学力日本一を目指した特色ある教育の推進と確かな学力の育成</u> に修正。	

37	18ページ	全国学力学習状況調査は、目標ではあるが、数値を明記していないので、KPIにおける目標ではないのではないかと考える。	全国学力状況調査の数値は、テストの難易度で上下するため「全国平均以上」という表現にしたい。 なお、電子黒板についてはKPIに数値を明記。	
38	18ページ	具体的な施策は、特色を生かした施策を掲げる必要がある。本市で目指す教育を目玉に掲げていくべきではないかと考える。	18ページの（具体的な施策）の項目を修正。	
39	18ページ	医療センター跡地の問題について、学校誘致についての内容を記載してもよかったのではないかと考える。	跡地活用については未確定であるため、今回は見送っている。	
40	20ページ	<p><基本目標④> 嬉野市で安心して暮らしたい“地域”をつくる</p> <p>（3）空き家対策の推進</p> <p>・特定空き家についての施策の記載は必要ではないのではないかと考える。それよりも空き家を把握しリノベーションをして移住希望者とのマッチングをすることが人口増に向けての施策ではないかと考える。</p>	<p>20ページの（具体的な施策）の中の「特定空き家に該当する物件の所有者に、撤去等の指導・勧告・命令」を削除。</p> <p>リノベーションについては、7ページの（2）<u>移住支援及び定住支援</u>の（具体的な施策）の中に項目を追加。</p>	

41	21 ページ	<p>(4) 健康長寿のまちづくり</p> <p>具体的な施策の中に健康寿命という文言を入れてはどうか。また KPI を示してもよいのではないかと考える。</p>	<p>19 ページの <基本目標④> の下の【数値目標】及び〔基本的方向〕に示している。</p>	
42	21 ページ	<p>健康マイレージ制度の推進についても検討してはどうか。</p>	<p>次回、見直しの際の検討項目としたい。(現在、先進地事例の調査検討中)</p>	
43	21 ページ 22 ページ	<p>(5) 高齢者が元気で住み続けられるまちづくり</p> <p>「日本版 CCRC」は、都会から田舎への押しつけであり問題があると考え。全国で検討しようとしている自治体は 1 割である。また総合戦略に掲げようとしているところは、1 割のうちの 40%となっている。佐賀県も少し難色を示している。そのようなものを今回入れる必要があるのか。様子を見ながら次の段階で検討をしてはどうかと考える。</p>	<p>実施の可否を含めて検討する。(削除なし)</p>	

44	22 ページ	<p>(6) 地域における身近な移動手段の確保 買い物難民についての支援は、今後の必要 かつ重要な施策ではないか。</p>	<p>22 ページの (6) <u>地域における身近な移動手段の確保</u> の項目を「自家用車など他の交通手段を持たない人や～」という文言に改める。(買い物難民という表現は使わない)</p>	

— 了 —